

事業所名		児童発達支援センター向島あづみ				支援プログラム(放課後等デイ)				作成日		2024 年		12 月		20 日	
法人（事業所）理念		ソーシャルインクルージョン理念の実現 様々な個性を持った人々が安心して、継続して活躍できる地域社会を実現します。 人びとが本来持っている「力」を最大限に発揮した、自分らしい生き方を支援します。															
支援方針		子どもたちが、対人または集団内でうまくかかわっていくためのコミュニケーションや自己コントロールについて学ぶとともに、それらを日常生活でも活かせることを目指します。 また、子どもたちの各々の発達段階や特性に応じて個別目標を設定し、適切な対応と支援を行います。															
営業時間		平日	10 時	00 分	から	18 時	30 分	送迎実施の有無				あり					
		休日	8 時	30 分	から	17 時	0 分					あり					
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	来所時に体温測定に加え、健康観察を行い健康状態の確認をする。また、事業所内での手洗い、手指、机等の消毒を徹底し衛生意識を高める。 外出機会を設定し、公共での経験を増やしていくとともに、社会的マナーや言葉遣い、金銭使用など生活に必要な技術を習得する。															
	運動・感覚	グラウンド・プレイルームを活用した粗大運動・球技を実施し筋力の強化、動作の改善を行う。ボルダリングを実施し、体幹等の筋力強化とボディイメージの形成を行う。 大型タッチパネルモニターを使用し体のコントロールを目的とした運動課題を実施する。															
	認知・行動	大型タッチパネルモニターを活用したビジョントレーニングを実施する。															
	言語 コミュニケーション	事業所内でルール設定を通して、適切に依頼ができるように促す。また、不適切な行動（暴力など、.）で表現している感情を言葉・書面に代替できるようにモデル提示し行動の変容を促す。大型タッチパネルモニターを活用した、言語訓練を実施する。															
	人間関係 社会性	ソーシャルスキル・トレーニング（SST）の実施。 集団生活を円滑に送るために必要な技能（ソーシャルスキル）を獲得できるように、ターゲットを設定したソーシャルスキルトレーニングを実施する。また、獲得したスキルを日常生活や学校などの様々な場面でも使えるようになることを目指し、事業所環境を整える。児童の話し合い活動を設定し、意見の伝え方・聞き方・態度について、提示されたモデルを参考にしながら実践することで、適切な方法を身に付けていくように促す。 友人同士で遊びの約束を取り決め、事業所内で実践する場を提供する。															
家族支援		定期的に個別面談を実施。家庭・学校での児童の様子について把握に努め、必要に応じて、対処方法や考え方について伝達する。 定期的に事業所の実施するペアレントトレーニングに参加。								移行支援				必要に応じて関係機関との連携を行う。			
地域支援・地域連携		必要に応じて学校及び関係機関と児童・保護者の情報を共有し適切な支援の構築に務める								職員の質の向上				OJTを毎日実施。その他、各種支援及び虐待・権利擁護・防災等の研修会に参加。			
主な行事等		ダンスウィーク 手話ウィーク CAPウィーク デイキャンプ 外出活動 福祉体験 避難訓練															